

愛称：リそな ペア・ハイ インカム

アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンド

追加型投信／海外／債券

第 34 作成期

第198期 (決算日 2020年10月12日)
 第199期 (決算日 2020年11月12日)
 第200期 (決算日 2020年12月14日)
 第201期 (決算日 2021年1月12日)
 第202期 (決算日 2021年2月12日)
 第203期 (決算日 2021年3月12日)
 作成対象期間 (2020年9月15日～2021年3月12日)

第203期末 (2021年3月12日)	
基準価額	4,572円
純資産総額	4,377百万円
第198期～第203期	
騰落率	6.9%
分配金 (税込み) 合計	120円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
 当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。
 当ファンドは、原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「TCWファンズ-MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド」および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」に投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。投資信託証券への組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。また、投資信託証券への投資にあたっては、分散投資を行うことを基本とします。当ファンドの投資対象である投資信託証券において、銘柄分散および企業調査や分析によって個別銘柄の信用リスクを低減するように努めます。原則として、為替ヘッジは行いません。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。
 ここに運用状況についてご報告申し上げます。
 今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」(当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」)をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書(全体版)をクリック

※ホームページ掲載日より5年間は閲覧いただけます。

- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

<お問い合わせ先>

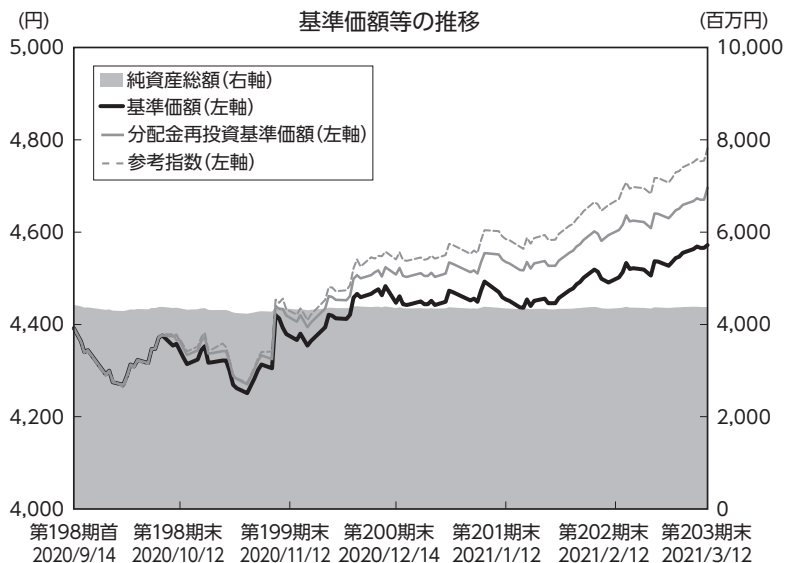
お客様サポートライン：0120-202-900 (2021年6月30日まで)
 03-3593-5911※ (2021年7月1日から)
 ※通話料は有料です

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
 ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

第198期首	4,392円
第203期末	4,572円
既払分配金 (税込み)	120円
騰落率	6.9% (分配金再投資ベース)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、ブルームバーグ・パークレイズUSコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシューアード・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index (BB-B) です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年9月14日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ① 2020年11月から年初にかけて、新型コロナウイルスのワクチン接種が一部の国で始まり、市場に楽観的な見方が広がったこと
- ② 2021年1月以降から当作成期末にかけて、円に対して米ドル高、ユーロ高となったこと

下落要因

- ① 当作成期初から2020年12月にかけて、円に対して米ドル安、ユーロ安となったこと
- ② 2021年1月中旬に、新型コロナウイルスのワクチン普及や経済見通しの改善に伴いインフレ懸念が台頭したこと

1万口当たりの費用明細

項 目	第198期～第203期 (2020年9月15日 ～2021年3月12日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a)信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	23円 (5) (17) (1)	0.512% (0.108) (0.378) (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.005 (0.005)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	23	0.517	
期中の平均基準価額は4,408円です。			

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

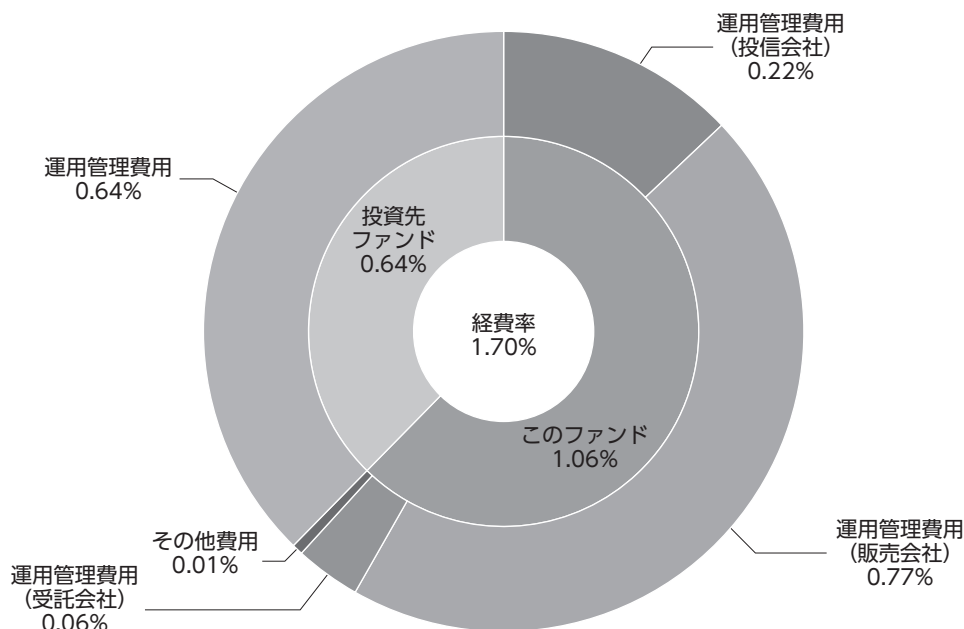
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

● 経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.70%です。



経費率 (①+②)	1.70%
①このファンドの費用の比率	1.06%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率 (運用管理費用以外の費用を含む)	0.64%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

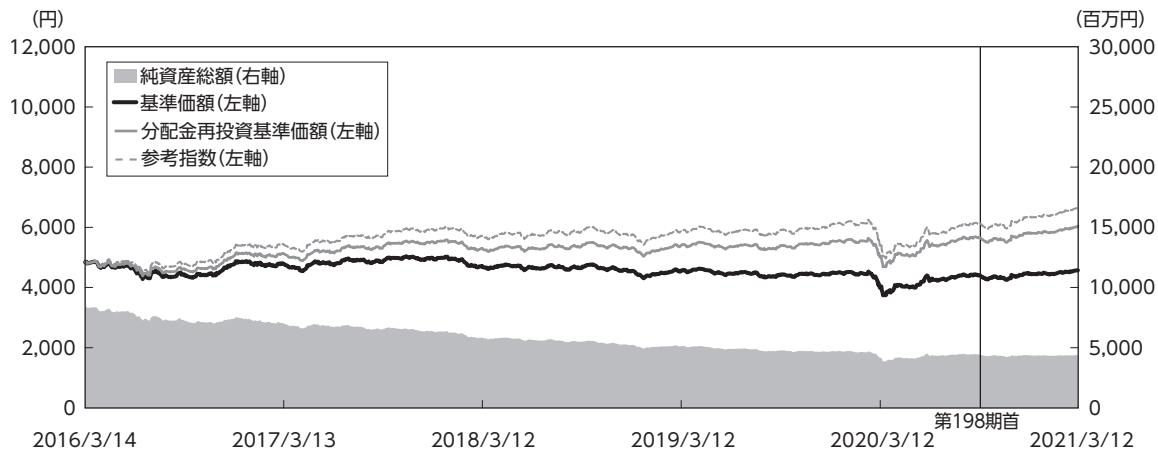
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年3月14日～2021年3月12日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかにについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、ブルームバーグ・パークレイズUSコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシューアード・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index (BB-B) です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2016年3月14日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2016/3/14 期首	2017/3/13 決算日	2018/3/12 決算日	2019/3/12 決算日	2020/3/12 決算日	2021/3/12 決算日
基準価額(円)	4,838	4,800	4,708	4,526	4,092	4,572
期間分配金合計(税込み)(円)	—	315	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	6.3	3.1	1.3	-4.6	18.1
参考指数騰落率(%)	—	12.6	5.0	2.1	-5.0	20.2
純資産総額(百万円)	8,373	7,034	5,837	5,098	4,237	4,377

(注1) 参考指数は、ブルームバーグ・パークレイズUSコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシューアード・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index (BB-B) です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

(注2) ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)が公表をおこなうインデックスです。ブルームバーグはブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index (BB-B) は、ICE Data Indices, LLC、その関係会社(「ICE Data」)および/又はその第三者サプライヤーの財産であり、アムンディ・ジャパン株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Dataおよびその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。免責条項の全文については、<https://www.amundi.co.jp/fund/100009.html>をご参照ください。

投資環境

〈米国ハイイールド債市場〉

当作成期の米国ハイイールド債市場は上昇しました。2020年後半から新型コロナウイルスのワクチンに関するニュースが市場心理を改善させ、経済活動再開に対する期待感が高まりました。2021年に入るとワクチン普及が加速し、新型コロナウイルスの感染拡大がやや収束の兆しをみせたことから、経済活動の制限が一部緩和されたことも好感されました。また、経済成長見通しの改善やインフレ率上昇の可能性を織り込み始めたため、米国国債利回りは上昇（債券価格は下落）し、イールドカーブのステイプ化が進むなか、ハイイールド債市場ではすべての格付でプラスのリターンとなりました。加えて、より格付の低い債券ほど上昇しました。業種別では、エネルギーが大幅上昇し、これに次いで運輸、レジャー、小売などが好調でした。

〈欧州ハイイールド債市場〉

当作成期の欧州ハイイールド債市場は上昇しました。当作成期初は、新型コロナウイルス感染者の急増に対応するために各国政府が新たなロックダウン（都市封鎖）措置を実施したことで、景気回復には時間がかかるとの見方から低調なスタートとなりました。2020年11月の米国大統領選挙が混迷を極めたことも、市場の不透明感を強めました。しかし、新型コロナウイルスのワクチンに関する明るいニュースなどで市場のセンチメントは急速に改善し、クレジット・スプレッド（国債との利回り格差）は大幅に縮小しました。年末にECB（欧州中央銀行）がパンデミック（世界的大流行）を受けて緊急購入プログラムの規模を拡大したことも、センチメント改善を後押ししました。年が明けると米国では民主党が議会両院を制し、バイデン大統領が大規模な景気刺激策を発表し、成長期待とインフレ期待が高まり、主要先進国の長期国債利回りが大きく上昇しました。一時的に株価の下落などがみられたものの、各国・地域の中央銀行は超緩和的な金融政策をしばらく継続する意向を示したことで乱高下は抑えられました。2月には、欧州ハイイールド債などこれまでやや出遅れていた資産がアウトパフォームしましたが、その後は金利上昇の影響もあり、方向感の乏しい状況で当作成期末を迎えました。

〈為替市場〉

当作成期の為替市場では、米ドルは106円台前半、ユーロは125円台半ばでスタートしました。

米ドルは、安全資産としての需要の後退から上値を切り下げて始まりしました。その後、11月の米国大統領選挙で勝利したバイデン次期大統領による大規模財政支出への期待、新型コロナウイルスのワクチン開発進展のニュースを好感し、米ドルは小反発しました。年明け後のFOMC（米連邦公開市場委員会）において低金利政策の長期化が示唆されたことから再び弱含みましたが、米国上院でも民主党の優位が確定し大規模な景気対策が現実味を帯びたことやワクチン接種が順調に進んでいることを好感し、米ドルは反発し108円台半ばで当作成期末を迎えました。

ユーロは、当作成期初は欧州での新型コロナウイルスの感染再拡大などから円高・ユーロ安が進行しました。米国大統領選挙が終わり、新型コロナウイルスのワクチン接種が一部の国で始まったことから1月以降は円安・ユーロ高となり130円台で当作成期末を迎えました。

ポートフォリオ

〈当ファンド〉

当ファンドは、主として、米国のハイイールド債市場へ投資する「TCWファンズ - MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド (XJシェアクラス)」と欧州のハイイールド債市場へ投資する「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」の毎月分配クラスに投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行いました。TCWファンズ - MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンドとAmundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンドの二つのファンドにほぼ均等に分散投資を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈TCWファンズ - MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド〉

当ファンドでは、クレジット特有の投資機会が出現していると思われる一方で、バリュエーションは大幅に上昇し、景気回復に対する過度な楽観的な見方が出ているため、低格付債をアンダーウェイトとするとともに社債への配分を引き下げました。投資適格社債への資産配分や少ないながらも変動金利の非政府系MBS（不動産担保証券）への配分がプラス寄与した一方、社債のアンダーウェイトや、質の高い銘柄をオーバーウェイトしていたことがマイナスに働きました。

(TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー)

〈Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド〉

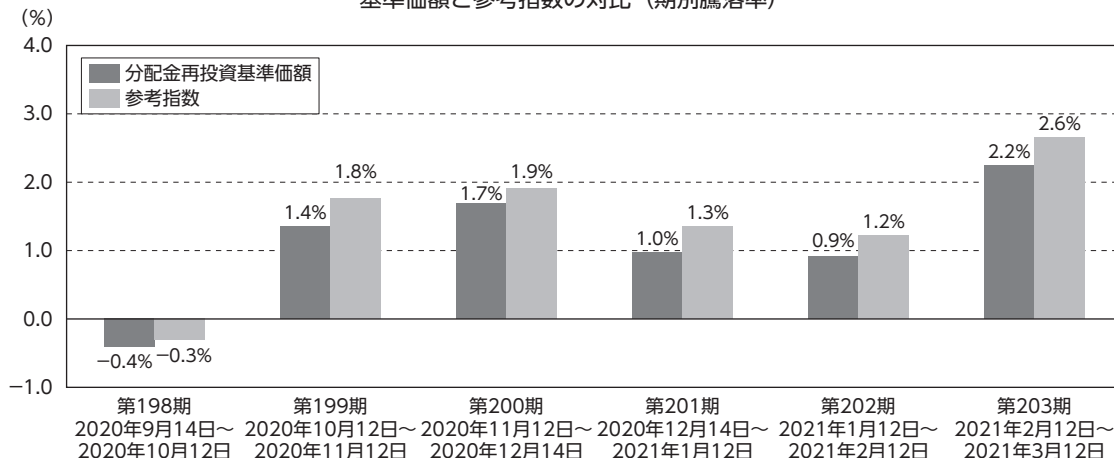
当ファンドは、当作成期を通じて金融劣債をオーバーウェイトしたことがプラスに寄与しました。年末にかけては市場全体へのエクスポージャーは維持しつつ、値上がり余地が限られているとみられる債券のポジションをいくつか削減しました。2021年に入ると投資適格社債を含む一部のハイブリッド債をオーバーウェイトしていたことがマイナスに働きました。その後、一部銘柄を新発債へ入れ替えました。年初からポジション調整を行いました。市場全体へのエクスポージャーは維持しました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注1) ファンドの騰落率は、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指数はブルームバーグ・パークレイズUSコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシューアード・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index (BB-B) です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配金に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第198期	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期
	(2020年9月15日 ～2020年10月12日)	(2020年10月13日 ～2020年11月12日)	(2020年11月13日 ～2020年12月14日)	(2020年12月15日 ～2021年1月12日)	(2021年1月13日 ～2021年2月12日)	(2021年2月13日 ～2021年3月12日)
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	(0.457%)	(0.453%)	(0.448%)	(0.445%)	(0.443%)	(0.436%)
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,553	2,576	2,601	2,625	2,626	2,628

- 「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- 「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

〈当ファンド〉

TCWファンズ - MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンドとAmundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンドの投資比率は今後も現状を維持する予定です。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈TCWファンズ - MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド〉

市場は今後の景気回復の道筋について楽観的な見方がある程度織り込んでいますが、経済が直面する根本的課題を反映していないと考えています。世界経済は予想を上回る底堅さと回復力を示したと思われませんが、パンデミックによる不確実性が依然残っているため、持続的な成長軌道に戻るのはまだ先になると考えます。当ファンドでは、経済情勢が持続的に改善する方向に向かうと予想していますが、ボラティリティ（価格変動性）のある程度の上昇と相場下落が起こる可能性も見込んでいます。もっとも、F R B（米連邦準備理事会）のサポートプログラムが導入され、必要に応じて実施される準備ができているため不安定な局面は長続きしないと予想しています。当ファンドは、銘柄選択とクレジットのファンダメンタルズ（基礎的条件）面の調査・分析を引き続き重視してまいります。

(TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー)

〈Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド〉

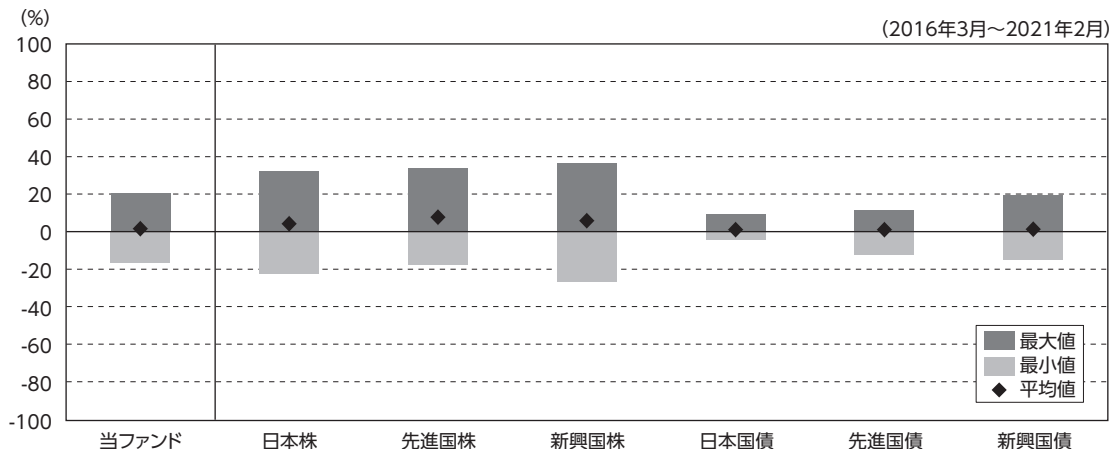
中国のGDP（国内総生産）が新型コロナウイルス発生前の水準に戻ったことや、米国の景気や雇用情勢が急速に改善していることは、世界経済の回復にとって心強い兆候となっています。ただし、欧州ではワクチン接種の遅れによって景気回復が鈍化しています。当ファンドの基本シナリオは依然として、ワクチンの接種が徐々に進展し、2021年内には経済活動が正常化するというものです。支援策もありデフォルト（債務不履行）率は引き続き低水準で推移するとみられます。また、欧州ではインフレ期待や金利が徐々に上昇する可能性があるものの、その水準は歴史的に低い水準にとどまると考えられます。したがって、欧州ハイイールド債の利回りは、多くの投資家にとって引き続き魅力的な水準であり、当ファンドは欧州ハイイールド債に対する積極的な見方を維持します。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2004年3月19日から無期限です。	
運用方針	原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「TCWファンズ - MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド」および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」に投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。原則として、為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	アムンディ・米国・ユーロ 高利回り債ファンド	TCWファンズ - MetWestハイ・イールド・ボンド・ ファンド (XJシェアクラス) Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド (毎月 分配クラス)
	TCWファンズ - MetWestハイ・イ ールド・ボンド・ファン ド (XJシェアクラス)	米国のハイイールド債
	Amundi Funds ユーロ・ ハイ・イールド・ボンド (毎月分配クラス)	欧州のハイイールド債
運用方法	<p>① 原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券に投資します。</p> <p>② 投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。</p> <p>③ 投資信託証券への投資にあたっては、分散投資を行うことを基本とします。当ファンドの投資対象である投資信託証券において、銘柄分散および企業調査や分析によって個別銘柄の信用リスクを低減するように努めます。</p> <p>④ 投資比率の変更は、委託会社の判断により適宜行われます。</p> <p>⑤ 投資信託証券は、委託会社の判断により、適宜見直しを行います。</p>	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月12日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.7	4.4	7.8	6.0	1.2	1.2	1.5
最大値	20.3	32.2	34.1	36.7	9.3	11.4	19.3
最小値	-16.4	-22.0	-17.5	-26.6	-4.0	-12.3	-15.0

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2016年3月から2021年2月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・ 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・ 当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・ 騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

2021年3月12日現在

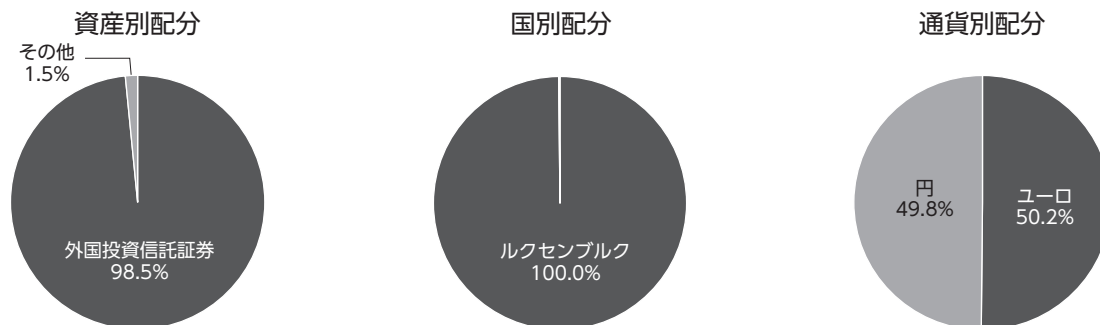
(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	通貨	比率
1	Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド-毎月分配クラス	ユーロ	49.4%
2	TCW ファンズ- MetWest ハイ・イールド・ボンド・ファンド (XJ シェアクラス)	円	49.1%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第198期末 2020年10月12日	第199期末 2020年11月12日	第200期末 2020年12月14日	第201期末 2021年1月12日	第202期末 2021年2月12日	第203期末 2021年3月12日
純資産総額	4,356,072,293円	4,354,051,890円	4,354,649,435円	4,360,914,215円	4,340,497,665円	4,377,822,123円
受益権総口数	10,004,348,843口	9,911,866,462口	9,791,667,290口	9,755,648,317口	9,665,404,866口	9,576,214,289口
1万口当たり基準価額	4,354円	4,393円	4,447円	4,470円	4,491円	4,572円

※当作成期間（第198期～第203期）中における追加設定元本額は60,541,306円、同解約元本額は550,169,988円です。

組入ファンドの概要

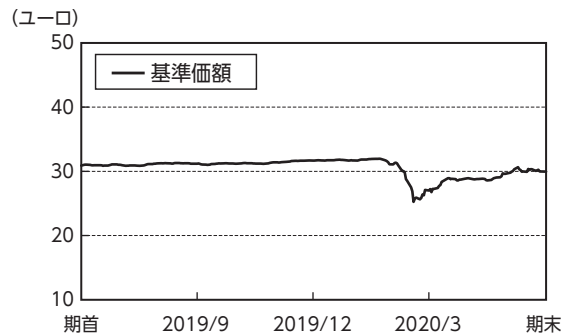
<Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド>

決算日：2020年6月30日

(計算期間：2019年7月1日～2020年6月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載していません。

基準価額の推移 (組入シェアクラス)



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

2020年6月30日現在
(組入銘柄数：334銘柄)

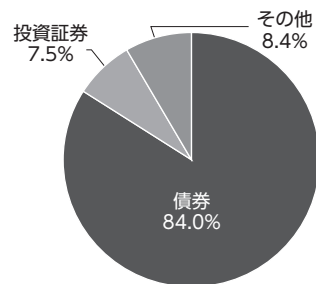
	銘柄	通貨	発行国	比率
1	AMUNDI TRESO COURT TERME PART I C	ユーロ	フランス	3.7%
2	TIM SPA 4% 11/04/2024	ユーロ	イタリア	0.9%
3	TELEFONICA EUROPE BV VAR PERPTUAL	ユーロ	オランダ	0.8%
4	EUROPEAN HIGH YIELD SRI SICAV	ユーロ	フランス	0.8%
5	NETFLIX 3.625% 15/05/2027	ユーロ	アメリカ	0.8%
6	CREDIT AGRICOLE SA VAR PERP	米ドル	フランス	0.7%
7	AMUNDI 3 M FCP	ユーロ	フランス	0.7%
8	TEVA PHARM FNC NL II 6% 31/01/2025	ユーロ	オランダ	0.7%
9	TELECOM ITALIA 5.875% 19/05/23	英ポンド	イタリア	0.6%
10	ALTICE FINANCING SA 3% 15/01/2028	ユーロ	ルクセンブルク	0.6%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

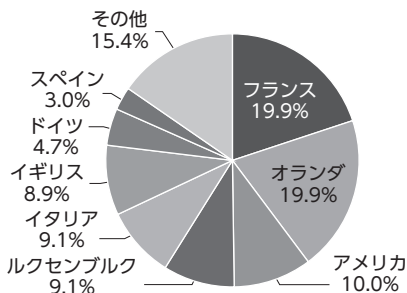
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されております。

種別構成

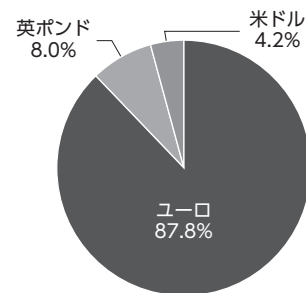
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

組入ファンドの概要

<TCW ファンズ- MetWest ハイ・イールド・ボンド・ファンド>

決算日：2020年9月30日

(計算期間：2019年10月1日～2020年9月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載して
います。

基準価額の推移 (XJ シェアクラス)



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

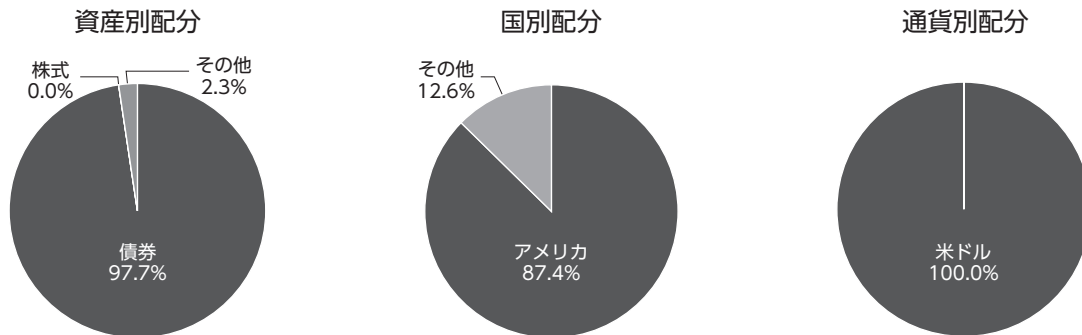
2020年9月30日現在
(組入銘柄数：220銘柄)

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	USA 0% 16/02/2021	米ドル	アメリカ	3.1%
2	T MOBILE USA INC 3.875% 15/04/2030	米ドル	アメリカ	2.1%
3	HCA INC 3.5% 01/09/2030	米ドル	アメリカ	1.8%
4	SPRINT CORP 7.875% 15/09/2023	米ドル	アメリカ	1.8%
5	CCO HLDGS LLC 5.375% 01/05/2025	米ドル	アメリカ	1.6%
6	SIRIUS XM RADIO INC 3.875% 01/08/2022	米ドル	アメリカ	1.5%
7	KRAFT HEIN 4.625% 01/10/2039	米ドル	アメリカ	1.5%
8	LEVEL 3 FIN INC 4.25% 01/07/2028	米ドル	アメリカ	1.3%
9	BALL CORP 4% 15/11/2023	米ドル	アメリカ	1.2%
10	IQVIA INC 5% 15/05/2027	米ドル	アメリカ	1.2%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入してあります。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東京証券取引所第一部に上場している全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXの指数値およびTOPIXの商標は東京証券取引所の知的財産であり、同指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は、東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有します。

• MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。

• FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント